(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-277007
(P2004-277007A)
(43)公開日　平成16年10月7日(2004.10.7)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
B65D 35/50	B65D 35/50	B	3E084

審査請求 未請求　請求項の数 3　書面　（全 9 頁）

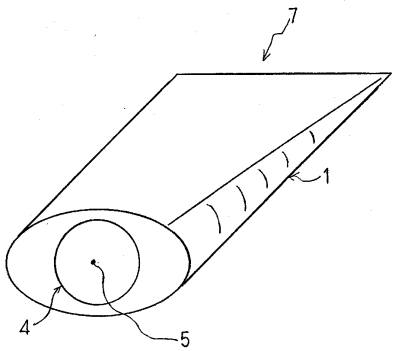
(21)出願番号　特願2003-114979(P2003-114979)
(22)出願日　平成15年3月17日(2003.3.17)

(71)出願人　503145903
福田　力也
埼玉県さいたま市大宮区上小町６７２番地４
(72)発明者　福田　力也
埼玉県さいたま市上小町６７２番地４

Fターム(参考)　3E084 AA03 AA12 AA24 AB06 BA01 CA01 CB02 CC03 DA01 DB12 DC03 FA09 FB01 GA04 GB16 HB01 LA21 LB02 LB07 LD01 LD16

(54)【発明の名称】接着剤等塗布装置

(57)【要約】
【課題】本発明は、外気にふれることがなく、内容物の固化、気化、腐敗を防止して、長期保存が利き、使用時でも内部に収納されている内容物の固化、気化を防止することができ、使用度ごとにキャップの開閉を行う必要がなく快適な塗布装置を行うことができて、しかも安価にできる接着剤等の塗布装置を得るにある。
【解決手段】接着剤等の内容物を収納することができ、上部に開口部が形成された収納容器本体と、前記開口部と嵌合あるいは外周部と螺合されたノズル本体と、このノズル本体に少なくとも１ヶ所の開口部とを有し、前記収納容器本体もしくは前記内容物を加圧することによって前記ノズル本体の前記開口部が開き、前記収納容器本体もしくは前記内容物が無圧状態になると前記ノズル本体の前記開口部が閉じるように形成され、外気の進入を防止するように備えてなる接着剤等塗布装置を構成している。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
接着剤等の内容物を収納することができ、上部に開口部が形成された収納容器本体と、前記開口部と嵌合あるいは外周部と螺合されたノズル本体と、このノズル本体に少なくとも１ヶ所の開口部とを有し、前記収納容器本体もしくは前記内容物を加圧することによって前記ノズル本体の前記開口部が開き、前記内容物が無圧状態になると前記ノズル本体の前記開口部が閉じるように形成され、外気の進入を防止するように備えてなることを特徴とする接着剤等塗布装置。
【請求項２】
接着剤等の内容物を収納することができ、上部に開口部と支持部が形成された収納容器本体と、前記開口部と嵌合あるいは外周部と螺合された蓋体と、この蓋体に開口部と押さえ部が形成され、前記支持部と前記押さえ部によって固持された挟持部が形成されたノズル本体と、このノズル本体に少なくとも１ヶ所の開口部とを有し、前記収納容器本体もしくは前記内容物を加圧することによって前記ノズル本体の前記開口部が開き、前記内容物が無圧状態になると前記ノズル本体の前記開口部が閉じるように形成され、外気の進入を防止するように備えてなることを特徴とする接着剤等塗布装置。
【請求項３】
接着剤等の内容物を収納することができ、上部に開口部と支持部が形成された収納容器本体と、前記開口部と嵌合あるいは外周部と螺合された蓋体と、この蓋体に開口部と押さえ部が形成され、前記支持部と前記押さえ部によって固持された挟持部が形成されたノズル本体と、このノズル本体に少なくとも１ヶ所の開口部と係止部が形成され、前記係止部と嵌合するように形成された抑止体を有し、前記収納容器本体もしくは前記内容物を加圧することによって前記ノズル本体の前記開口部が開き、前記内容物が無圧状態になると前記ノズル本体の前記開口部が閉じるように形成され、外気の進入を防止するように備えてなることを特徴とする接着剤等収納装置。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明はシアノアクリレート系接着剤（瞬間接着剤）や糊、シンナーおよび、液体、練り状の食品や化粧品等の塗布供給用に関するものである。
【０００２】
【従来の技術】
従来、接着剤等塗布装置は上部に開口部が形成された収納容器本体と、この収納容器本体の開口部を開閉する該開口部の外周部と螺合するキャップ体で構成されている。
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
従来の方法では、次に列挙するような欠点があった。
従来の接着剤等塗布装置の瞬間接着剤や糊、シンナーなどはキャップ体の先端部をナイフ等で切断して開口部を設け、この開口部より塗布して使用するために外気に触れたままの状態となり、内部に収納されている接着剤や糊、シンナーなどは使用中に固化したり、気化してしまう欠点があった。更に、これを使用した後に接着剤は針などを開口部に突き刺した状態で保管するため外気の進入を防止することができず内部に収納されている接着剤等の長期保存を行う事ができなかった。そして再度これを使用するには突き刺さった針などと接着剤等が接着された状態となるため不経済であり、この針などを開口部より引き抜くには困難を極めると云う欠点があった。
次に液体、練り状の化粧品や食品等の接着剤等塗布装置は、キャップ体を取り外して開口部に孔を空けて使用するため、使用度ごとキャップの開閉を行なわなければならないという煩わらしさがあった、更に１度空けて使用すると外気の進入を確実に止めることができず、内部に収納されている液体、練り状の化粧品や食品等は腐敗や固化してしまう欠点があった。

【０００４】
本発明は以上のような従来の欠点に鑑み、ノズル本体の開口部は無圧状態では常時弾力によって完全に閉鎖密閉されているため外気に触れることがなく、内部に収納されている接着剤、糊、シンナー、液体、練り状の化粧品や食品等は固化、気化、腐敗することがなく長期保存が利き、そしてこれを使用するには、収納容器本体もしくは内容物を加圧するとノズル本体の開口部周辺の弾性体が拡張して内部の接着剤等の内容物が外部に出、加圧を止め、無圧状態にすると瞬時にノズル本体の開口部を閉じる事が出来、外気の進入を防ぐため収納されている内容物の液が外に流れ出ることがなく、使用時でも内部に収納されている接着剤や糊、シンナー等の固化、気化を防止することができ、使用度ごとにキャップの開閉をおこなう必要がなく、快適な塗布作業を行うことができて、しかも安価に出来る接着剤等塗布装置を提供することを目的としている。

【０００５】
本発明の前記ならびにそのほかの目的と新規な特徴は次の説明を添付図面と照らし合わせて読むと、より完全に明らかになるだろう。
ただし、図面はもっぱら解説のためのものであって、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

【０００６】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために、本発明は接着剤等の内容物を収納することができ、上部に開口部が形成された収納容器本体と、前記開口部と嵌合あるいは外周部と螺合されたノズル本体と、このノズル本体に少なくとも１ヵ所の開口部とを有し、前記収納容器本体もしくは前記内容物を加圧することによって前記ノズル本体の開口部が開き、前記内容物が無圧状態になると前記ノズル本体の前記開口部が閉じるように形成され、外気の進入を防止するように備えてなる接着剤等塗布装置を構成している。

【０００７】
【発明の実施の形態】
以下、図面に示す発明の実施の形態により本発明を詳細に説明する。

【０００８】
図１ないし図１０に基づいて、第１の実施の形態を説明する。
図１ないし図１０にて示すように、１は開口部２が形成されたガラス製や合成樹脂製等の丸、四角、多角形等で形成された筒状の収納容器本体で、この収納容器本体１には内容物６が収納され、前記収納容器本体１の開口部２の外周部にはねじ部３が形成され、前記収納容器本体１の開口部２の外周部の前記ねじ部３と螺合固定された『もしくは前記収納容器本体１の開口部２に嵌合するように形成された嵌合部３Ａと嵌合固定された』シリコンゴム、フッソゴム等の弾性体にて形成されたノズル本体４と、このノズル本体４の１ヶ所もしくは複数ヶ所の適宜な位置に開口部５が形成されている。
尚、図９にて示すように、上記構成に収納容器本体１に加圧体１６と摺動することができ、且つ内容物６が漏れる事の無いように形成された摺動部１７を形成し、加圧体１６によって前記内容物６を加圧できるようにしても良く、図１０にて示すように収納容器本体１の下部の内周部にねじ部１８を形成し、加圧体１６をねじの回動によって前記内容物６を加圧できるようにし、前記摺動部１７より前記内容物６が漏れないように加圧体１６の適宜な位置にオイルシール、Ｏリングなどで形成された装着体１９を嵌挿して形成してもよい。
上記構成の接着剤等塗布装置７はシアノアクリレート系接着剤（瞬間接着剤）や糊、シンナー、化粧品、食品等の内容物６（以下内容物６と云う）を収納し、これを使用するには、収納容器本体１もしくは前記内容物６に圧力を加え、前記収納容器本体１内の前記内容物６が押し出される形となって加圧状態となり、弾性体にて形成されたノズル本体４の開口部５が拡張して開き、この開口部５より前記内容物６が押し出されるようにして接着剤等塗布装置７外に突出され、必要な場所にこれを使用し、圧力を止めると前記内容物６が無圧状態となり、前記ノズル本体４の開口部５が瞬時にして閉じた状態となり前記内容物

６の流出を止めて、外気の進入を防止することが出来、前記内容物６の腐敗、固化、気化などを防止することができる『第の２実施の形態、第３の実施の形態も同様のことが云える』。

【０００９】

図１１ないし図１６に基づいて、第２の実施の形態を説明する。尚、説明の便宜上、前述の実施の形態の図面に示した部材と同一の部材には同一の符号を付記し、その説明を省略している。

図１１ないし図１６にて示すように、１は開口部２が形成されたガラス製や合成樹脂製等の丸、四角、多角形等で形成された筒状の収納容器本体で、この収納容器本体１には内容物６が収納され、前記収納容器本体１の開口部２の外周部にはねじ部３と支持部９が形成され、前記収納容器本体１の開口部２の外周部の前記ねじ部３と螺合固定された『もしくは前記収納容器本体１の開口部２に嵌合するように形成された嵌合部３Ａと嵌合固定された』蓋体８に開口部１０と押さえ部１１（開口部１０を押さえ部１１として使用してもよい）を形成し、前記支持部９と前記押さえ部１１によって固持された挟持部１２が形成されたシリコンゴム、フッソゴム等の弾性体にて形成されたノズル本体４と、このノズル本体４の１ヶ所もしくは複数ヶ所の適宜な位置に開口部５が形成されている。

上記構成の接着剤等塗布装置７は、シアノアクリレート系接着剤（瞬間接着剤）や糊、シンナー、化粧品、食品等の内容物６（以下内容物と云う）を収納し、これを使用するには収納容器本体１もしくは前記内容物６に圧力を加え、前記収納容器本体１内の前記内容物６が押し出される形となって加圧状態となり、弾性体にて形成されたノズル本体４の開口部５が拡張して開き、この開口部５より前記内容物６が押し出されるようにして接着剤等塗布装置７外に突出され、必要な場所にこれを使用し、圧力を止めると前記内容物６が無圧状態となり、前記ノズル本体４の開口部５が瞬時にして閉じた状態となり前記内容物６の流出を止めて、外気の進入を防止することができ、前記内容物６の腐敗、気化、固化などの防止することができる、

【００１０】

図１７ないし図２４に基づいて、第３の実施の形態を説明する。尚、説明の便宜上、前述の実施の形態の図面に示した部材と同一の部材には同一の符号を付記し、その説明を省略している。

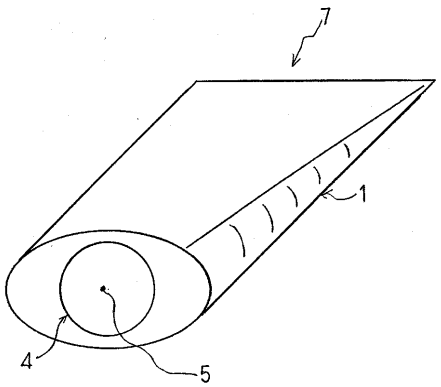
図１９ないし図２４にて示すように、１は開口部２が形成されたガラス製や成樹脂製等の丸、四角、多角形等で形成された筒状の収納容器本体で、この収納容器本体１には内容物６が収納され、前記収納容器本体１の開口部２の外周部にはネジ部３と支持部９が形成され、前記収納容器本体１の開口部２の外周部の前記ねじ部３と螺合固定された『もしくは前記収納容器本体１の開口部２に嵌合するように形成された嵌合部３Ａと嵌合固定された』蓋体８に開口部１０と押さえ部１１（開口部１０を押さえ部１１として使用してもよい）を形成し、前記支持部９と前記押さえ部１１によって固持された挟持部１２が形成されたシリコンゴム、フッソゴム等の弾性体にて形成されたノズル本体４とこのノズル本体４の１ヶ所もしくは複数ヶ所の適宜な位置に開口部５と係止部１３が形成され、この係止部１３と嵌合するように形成された適宜な力にて開閉可能な形状記憶合金、形状記憶プラスチック、バネに切り欠け部１５を形成するかもしくは、シリコンゴム、フッソゴムなどにて形成された抑止体１４によって形成されている。

上記構成の接着剤等塗布装置７は、シアノアクリレート系接着剤（瞬間接着剤）や糊、シンナー、化粧品、食品等の内容物６（以下内容物６と云う）を収納し、これを使用するには、収納容器本体１もしくは前記内容物６に圧力を加え、前記収納容器本体１内の内容物６が押し出される形となって、加圧状態となり、弾性体にて形成されたノズル本体４の開口部５と抑止体１４が拡張して開き、この開口部５より前記内容物６が押し出されるようにして接着剤等塗布装置７外に突出され、必要な場所にこれを使用し、圧力を止めると前記内容物６が無圧状態となり、前記ノズル本体４の開口部５が瞬時にして閉じた状態となり、前記内容物６の流出を止めて、外気の進入を防止して前記内容物６の腐敗、気化、固化などを防止することができる。

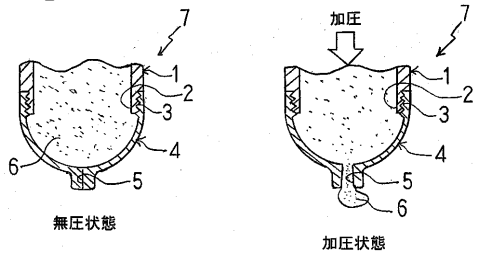
【００１１】
【発明の効果】
以上の説明から明らかなように、本発明にあっては、次に列挙する効果がある。
（１）　無圧状態では、ノズル本体の開口部が完全に密閉されているため、外気に触れることがなく、内部に収納されている接着剤、糊、シンナー、及び液体、練り状の化粧品や食品等は固化、気化、腐敗することがなく、しかも長期保存が利き安価にできる。
（２）　前記（１）によって、収納されている内容物の液体の液が外部に流れ出ることがない。。
（３）　前記（１）によって、開口部に孔を空けるという煩わしさがなくなり、快適な作業を行う事ができる。
（４）　収納容器本体もしくは内容物を加圧、無圧状態にするだけで内容物を出したり止めたりできるためその度ごとキャップの開閉を行う手間を省くことができる。
（５）　前記（４）によって使用時でも外気の進入を防止することができるため内部に収納されている接着剤や糊、シンナー等の固化、気化を防止することができる。
（６）　請求項２も、（１）～（５）と同様な効果が得られる。
（７）　請求項３も、（１）～（５）と同様な効果が得られる。
【図面の簡単な説明】
【図１】本発明の第１の実施の形態を示す斜視図である。
【図２】本発明の第１の実施の形態の部分を示す断面図である。
【図３】本発明の第１の実施の形態の部分を示す断面図である。
【図４】本発明の第１の実施の形態の部分を示す正面図である。
【図５】本発明の第１の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図６】本発明の第１の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図７】本発明の第１の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図８】本発明の第１の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図９】本発明の第１の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図１０】本発明の第１の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図１１】本発明の第２の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図１２】本発明の第２の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図１３】本発明の第２の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図１４】本発明の第２の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図１５】本発明の第２の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図１６】本発明の第２の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図１７】本発明の第３の実施の形態の１部分を示す斜視図である。
【図１８】本発明の第３の実施の形態の部分を示す断面図である。
【図１９】本発明の第３の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図２０】本発明の第３の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図２１】本発明の第３の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図２２】本発明の第３の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図２３】本発明の第３の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【図２４】本発明の第３の実施の形態の使用状態を示す断面図である。
【符号の説明】
１、　収納容器本体　　２、　開口部
３、　ねじ部　　３Ａ、　嵌合部
４、　ノズル本体　　５、　開口部
６、　内容物　　７、　接着剤等塗布装置
８、　蓋体　　９、　支持部
１０、　開口部　　１１、　押さえ部
１２、　挟持部　　１３、　係止部
１４、　抑止体　　１５、　切り欠け部

１６、　加圧体　　１７、　摺動部
１８、　ねじ部　　１９、　装着体

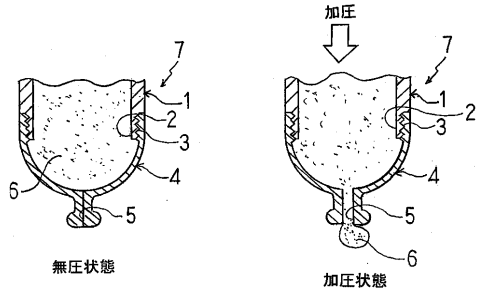
【図１】



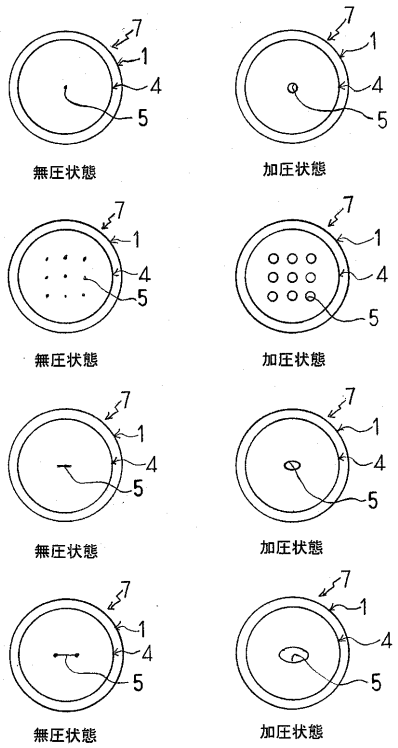
【図２】



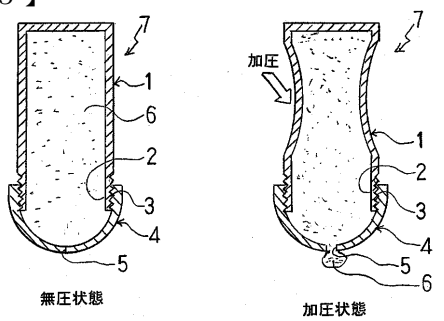
【図３】



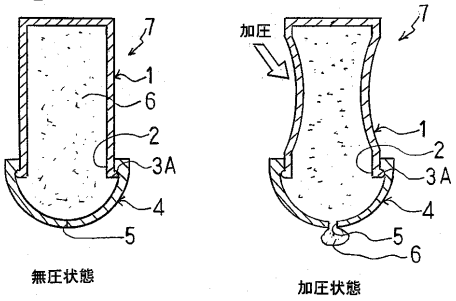
【図４】



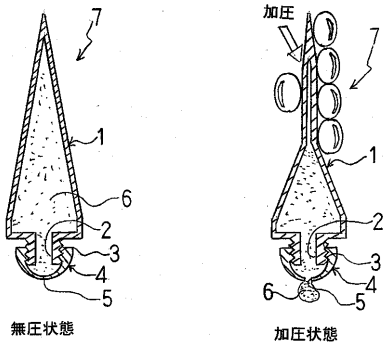
【図５】



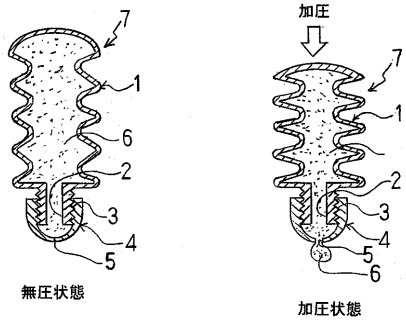
【図６】



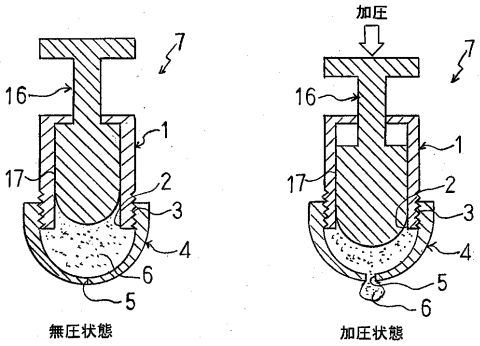
【図７】



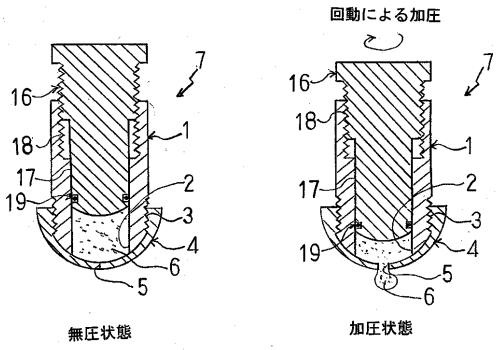
【図８】



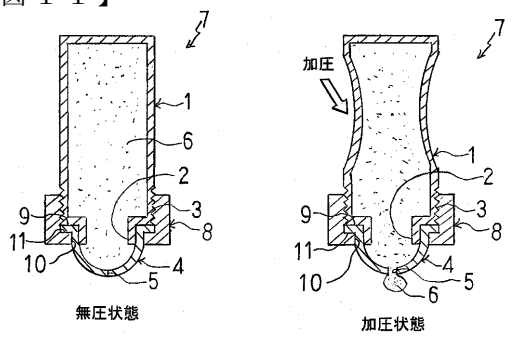
【図９】



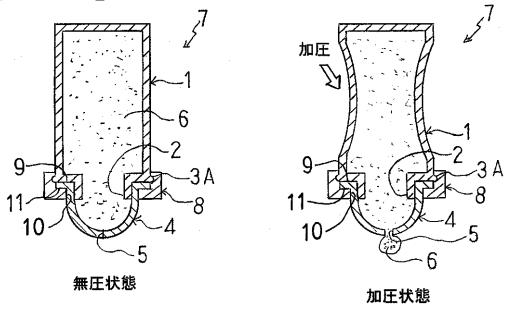
【図１０】



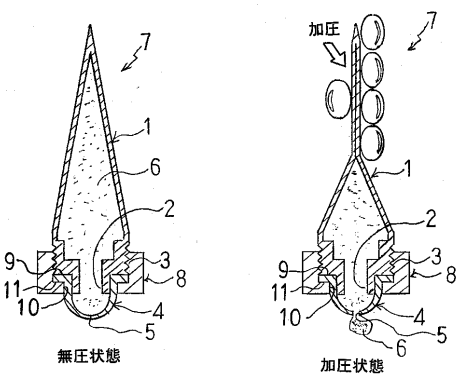
【図１１】



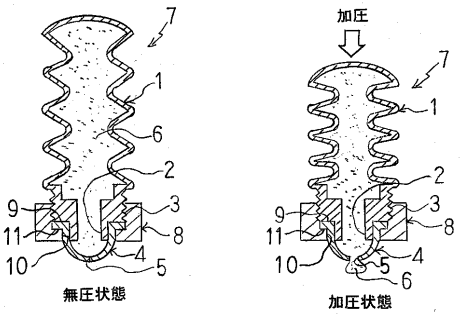
【図１２】



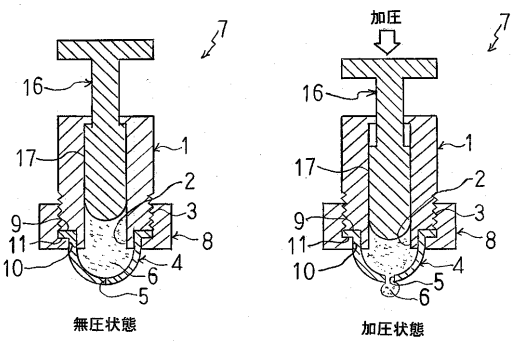
【図１３】



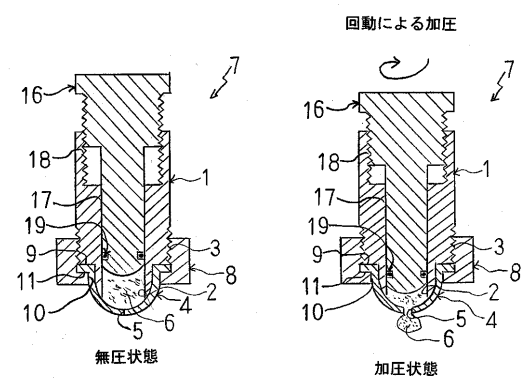
【図１４】



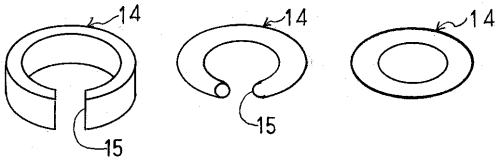
【図１５】



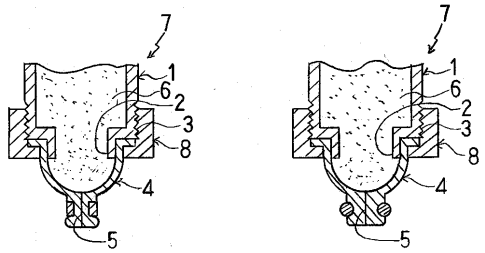
【図１６】



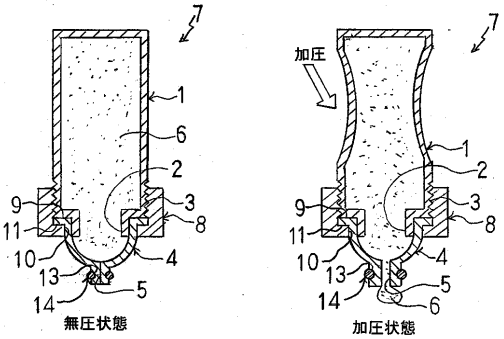
【図１７】



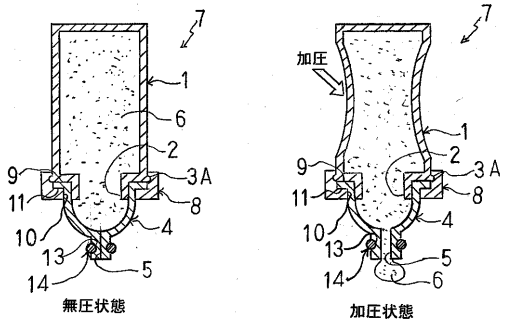
【図１８】



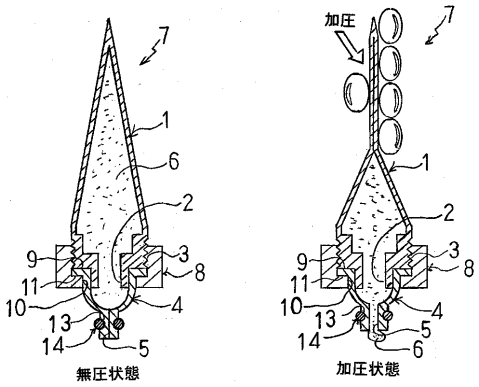
【図１９】



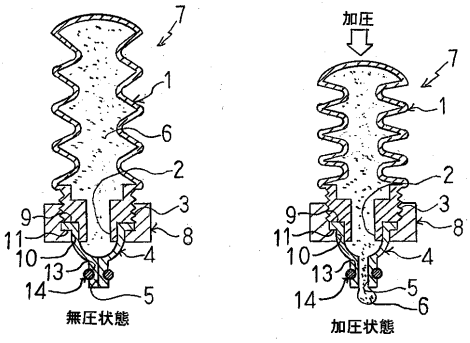
【図２０】



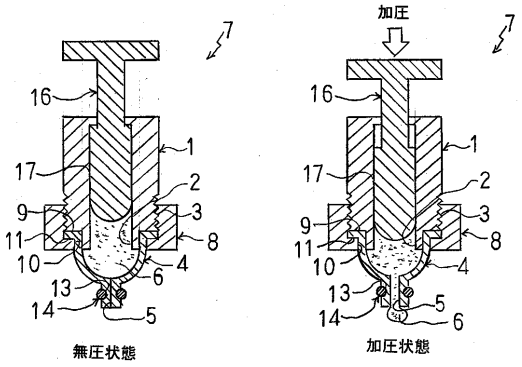
【図２１】



【図２２】



【図２３】



【図２４】

